

はなみずき

第32号

(平成29年8月号)



喫煙とがんのリスク ～禁煙のススメ～



呼吸器内科部長 山根 宏之

日本の研究では、がんの死亡のうち、男性で40%、女性で5%は喫煙が原因だと考えられています。

がんの原因のうち喫煙がどのくらいの割合を占めるかを表す指標として、「人口寄与危険割合」があります。これは、がんの原因全体を100%として、そのうち何%が喫煙で説明できるかを表します。

喫煙との関連は、がん種別で男性の肺がん、喉頭がん、尿路がん(膀胱・腎盂・尿管)で約70%と高く、女性でも肺がんでは20%と他のがん種に比べて高くなっています。(下表参照)

国立がん研究センターの実施した、非喫煙者の受動喫煙と肺がんとの関係についての成人期における家庭内受動喫煙で肺がんリスクが有意に増加することが示唆されました。受動喫煙に関連する肺がんのリスクは約1.3倍になるといった結果でした。

以上のように、喫煙は喫煙者のみならず周囲の人のがんのリスクを上げ、またがんのみならず動脈硬化を進行させ、冠動脈疾患、脳卒中のリスクも上げます。

またCOPD(慢性閉塞性肺疾患)や間質性肺炎のリスクも上げ、気管支喘息の人にとっては発作を誘発させるリスクを上げ、いいことは一つもありません。今からでも遅くありません。あなたと周りの大切な人の為にも禁煙をしましょう。

日本における喫煙とがん死亡についての相対リスク*と人工寄与危険割合**—3コホート併合解析研究(1983年~2003年)

がん種	男		女	
	相対リスク	人工寄与危険割合(%)	相対リスク	人工寄与危険割合(%)
全がん	2.0	39	1.6	5
口唇・口腔・咽頭	2.7	52	2.0	7
食道	3.4	61	1.9	12
胃	1.5	25	1.2	3
肝・肝内胆管	1.8	37	1.7	5
膵臓	1.6	26	1.8	8
咽頭	5.5	73	—	—
肺	4.8	69	3.9	20
子宮頸部			2.3	9
腎盂を除く腎臓	1.6	30	0.6	-1
尿路(膀胱・腎盂・尿管)	5.4	72	1.9	3
骨髄性白血病	1.5	35	1.0	0

* 相対リスク: タバコを吸わない人を1として、タバコを吸う人のがんのリスクが何倍になるかを示す指標

** 人工寄与危険割合: がんの原因のうち喫煙がどのくらいの割合を占めるかを表す指標(%)

(注) 人口寄与危険割合は、相対リスクが1の場合は0となり、相対リスクが1未満の場合は負の値となります。

資料: Journal of Epidemiology, 18:251-264, 2008 出典: 国立がん研究センターがん情報サービス

当院ご利用案内

診療受付時間

初めて当院をご利用される方(初診)は、かかりつけ医からの紹介状をご持参ください

☆月～金曜日 8:30～11:30 ※午後完全予約制(一部診療科を除く)

☆土曜日 8:30～11:30

☆休診日 日、祝、国民の休日、12/31～1/3(年末年始)

※千里救命救急センターは365日24時間対応(3次救急)

※日曜日、祝日、年末年始は、吹田市立休日急病診療所(豊津駅)をご利用ください

※夜間の救急に関するお問い合わせは、#7119(06-6582-7119)の「救急安心センターおおさか」まで

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、5,400円(平成29年9月から再診の方2,700円)いただきます。歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

当院では「治験」を行っています part2

薬剤部 兼 治験・臨床試験管理室
主任 村松宏美

今回は、皆さんが治験に参加する場合の診察の流れについてご紹介いたします。



ちけん君

Step3

同意(サイン)

説明を受けて治験に参加したいと思ったら、同意書にサインをしてください。すぐに決めなくても、お家でゆっくり相談してから、後日お返事でも結構です。治験に参加しなくても、診察で何ら不利益を受けることはありません。

Step4

スクリーニング検査

治験に参加するための条件にあっているかを調べるために、検査を行います。

Step1

はじめの診察

治験は、試験ごとに参加するための条件が定められているので、誰でも参加できるわけではありません。普段の診察で、担当の医師が「この方は治験に参加できるのでは?」と判断した場合、治験の内容についてご紹介いたします。

Step2

治験の説明

治験コーディネーター(CRC)と呼ばれる治験専門スタッフが、医師の説明をサポートします。治験の目的や方法、検査の内容、来院回数、治験薬(お薬の候補)の予測される効き目と副作用などが書かれた説明書をお渡しします。

Step5

治験薬の使用

一定期間、治験薬を使用していただきます。服薬日誌をつけていただく場合もあります。

Step6

診察・検査

決められたスケジュールで診察や検査を受けていただきます。Step5, 6を繰り返します。

Step7

事後調査

副作用などの異常がないかを調べます。

Step8

治験終了

普段の診察に戻ります。

治験に参加するかどうかを決めるのは、患者さんご本人です。参加した場合のメリットやデメリットなど詳しい説明をよく聞いて、時間をかけて決めてくださいね。治験の参加中に考えが変わって、途中でやめたい時も、いつでも自由にやめることができます。分からないことがあれば、担当医師または治験コーディネーターにご相談いただけますのでご安心ください。



参考：日本医師会 治験促進センター冊子「治験って何だろう?」

感染管理室

あなたの手はきれいですか？

手指衛生は感染対策の基本です！

昨今、抗菌薬が効きにくい薬剤耐性菌が問題となっており、2016年4月に厚生労働省より「薬剤耐性アクションプラン」が決定されました。国をあげて抗菌薬の適正使用方法や感染対策に取り組むことになったのです。感染対策の基本は「手指衛生」です。当院でも、目に見えない敵(感染症)を広げないために、①患者に接触する前 ②清潔無菌操作の前 ③体液に曝露された可能性のある場合 ④患者に触れたあと ⑤患者周囲の環境に触れたあと、この5つのタイミングでの「手指衛生」を実施するよう努力しています。そして、その啓蒙をかねて、「手指衛生の日」を定め、病院内の感染対策チームで実施状況をラウンドしています！ぜひ、病院にご来院の際には職員の手指衛生の状況もご覧くださいね。

※「手指衛生」とは、アルコール消毒と石けんを使った手洗いを指します。

あなたの手はきれいですか？
毎月第3火曜日は
手指衛生の日

感染対策の基本は「手指衛生」ということで、第3火曜日には腕章をつけたICTメンバー、ICTリンクナースが手指衛生の啓蒙を行います！業務中お声かけすることもあるかと思いますが、一緒に頑張りましょう！ご協力よろしくお願いします。

この腕章が目印です！



済生会千里病院 感染管理室、ICT、ICTリンクナース

『千里がんサロン』のご案内

当院では、がん患者さんとそのご家族の方に向けて毎月1回がんサロンを開催しています。お茶をしながらリラックスした雰囲気の中で体験談やお気持ちをお話頂ける機会です。ご参加頂いた方からは「同じ経験をした人同士でしか分かり合えない気持ちを共有できた」「他の人がどのような工夫をしているか情報交換ができる」と好評を頂いています。

偶数月には病院のスタッフによるミニレクチャーも開催しています。

参加は事前申し込みをお願いしております（お申し込み頂けるのは原則当院へ通院・入院歴のある患者さんに限らせて頂いています）。詳しくは、院内掲示・案内リーフレットをご覧ください。院内の『がん相談支援センター』までお問い合わせ下さい。

8月23日	ミニレクチャー（講師：理学療法士）	14:30～15:00
	がんサロン	15:00～16:00
9月27日	がんサロン	15:00～16:00
10月25日	ミニレクチャー（講師：社会福祉士）	14:30～15:00
	がんサロン	15:00～16:00
11月22日	がんサロン	15:00～16:00
12月20日	ミニレクチャー（講師：緩和ケア認定看護師）	14:30～15:00
	がんサロン	15:00～16:00
1月24日	がんサロン	15:00～16:00
2月28日	ミニレクチャー（講師：がん性疼痛看護認定看護師）	14:30～15:00
	がんサロン	15:00～16:00
3月28日	がんサロン	15:00～16:00

●開催日時：毎月第4水曜日（祝日・年末等変動する場合あり）

15:00～16:00（偶数月は、ミニレクチャーを14:30～開催しています）

※開催予定は、予告なく変更になる場合があります。



無料低額診療事業

『急な入院！
救急病院って高額なんでしょ・・・』

場所は婦人科奥
平日10時～16時
土曜10時～12時

当院で最もよく聞く相談です。

そんな時には **ソーシャルワーカー <福祉相談室>** にご相談を。



家族3人暮らし。
急な入院はお金がかかって心配。

年金は増えないのに
家賃が上がって・・・。

高額療養費の制度はあるけど、
医療費が払えない。
(相談の目安の収入は20万程度)



高齢者の二人暮らしは介護もあって
不安がいっぱい。
(相談の目安の収入は15万程度)

当院は無料低額診療事業を行っています。

収入状況をお聞きして、当院の医療費を免除もしくは減額しています。

安心して治療を継続してもらうための社会福祉法に基づく事業です。

(相談時は収入状況のわかる資料を確認させて頂いています)

■ 医療の提供の結果に関する事項 (厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠)

項目	単位	H28年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29年 1月	2月	3月	4月	5月
新入院患者数	人	799	834	826	888	778	833	855	821	773	772	791	787	799
退院患者数	人	754	845	861	876	788	809	839	905	707	780	797	789	799
入院延べ患者数	人	8,952	8,870	9,303	9,288	8,295	9,355	8,904	9,322	8,878	8,077	8,861	8,666	8,772
1日平均在院患者数	人	288.8	295.7	300.1	299.7	276.5	301.8	296.8	300.8	286.4	288.5	285.8	288.9	282.9
平均在院日数	日	11.2	10.2	10.5	10.4	10.3	11.2	10.0	10.3	11.8	10.2	10.8	10.8	10.8
手術件数	件	252	292	277	316	283	307	297	299	272	280	274	278	269
1日平均外来受診患者数	人	541.6	517.6	502.6	511.2	518.7	523.7	521.1	519.9	496.4	502.0	501.0	497.7	511.6

※病床数343床、そのうち救命救急センター43床

当院は、皆さんの「かかりつけ医（診療所）」と連携しています。

☑️ **かかりつけ医とは**

「かかりつけ医」とは、日頃の健康相談、病気になった時の初期治療を行ってくれる、地域の診療所・医院の医師のことです。また、専門的な治療が必要な場合は、病院へ皆さんの診療情報が書かれた「紹介状」を作成してくれます。

☑️ **何故かかりつけ医を持つのか？**

当院では「地域完結型医療」を推進しています。地域完結型医療とは、地域の中で、当院や診療所・医院等が、その特長を生かしながら役割分担をして、地域の医療機関全体で、切れ目のない医療を提供していこうというものです。お住まいの近くに「かかりつけ医」を持っていただくことで、次のようなメリットがあります。

☑️ **メリット 1：細やかな診療**

異動がある病院の医師とは違い、かかりつけ医とは長くお付き合いすることができます。長くお付き合いをすることで、皆さんの普段の体調、生活習慣、病歴等を踏まえた細やかな診療を受けることができます。そのため、体調の変化があった時は病気の早期発見につながります。

☑️ **メリット 2：円滑な医療**

皆さんが病気になり、高度な検査や入院診療が必要になった場合、かかりつけ医は、適切な専門医や病院を紹介してくれます。その際、かかりつけ医は診療情報が書かれた「紹介状」を作成してくれます。紹介状をお持ちの場合は、

当院では診察待ち時間も比較的短くて済み、紹介状の情報をもとに診療を行うため、重複した診療を避けることができます。

当院での治療が終わり、病状が落ち着いたら、かかりつけ医に対して逆紹介をさせていただきます。こうすることで、住み慣れた場所での継続的な診療を受けていただく事ができます。

☑️ **メリット 3：診療費の負担抑制**

重複した診療を避けることができるため診療費の負担を抑えられます。また当院では「紹介状なしの初診患者さん」には「保険外併用療養費」として**5,400円（税込）**いただいております。

☑️ **紹介状の重要性**

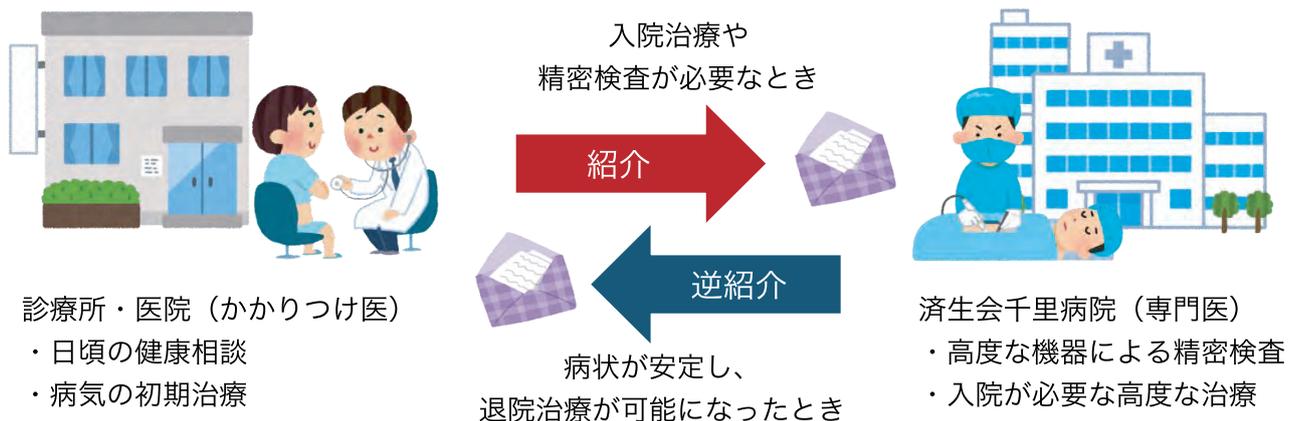
紹介状は、かかりつけ医が日頃の診療から得られた、皆さんの①体調、②薬の使用状況、③過去の病気などの健康状態が記された重要な文書です。是非、受診の際はお持ちください。

☑️ **かかりつけ医がない場合は？**

かかりつけ医がない方は、当院の「医療相談窓口」で相談することもできます。当院と連携をしている「登録医」をご紹介させていただきます。

☑️ **当院の紹介・逆紹介実績（2016年度）**

紹介件数：**8,295**件
逆紹介件数：**13,017**件



行事予定

済生会千里病院

平成29年
8月～10月

※変更になる場合があります。
予めご了承下さい。



■ 糖尿病教室

【日時・演題】 8月1日(火) 「インスリンの働きと使い方/糖尿病の合併症(腎症について)」
9月4日(月) 「上手なお薬手帳の使い方～災害時にも備えて～」 「未定」
10月2日(月) 「糖尿病との上手な付き合い方(仮)」
※いずれも13:00～14:00

【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121 内線208

■ 心臓病教室

【日時】 毎週水曜日 11:30～

【開催場所】 病院4階 心臓リハビリテーション室 【お問い合わせ】 心臓リハビリテーション室 06-6871-0121 内線680

■ 栄養教室(定員40名 予約不要)

【日時・演題】 9月12日(火) 13:00～ 「管理栄養士による栄養教室 上手に減塩!」

【開催場所】 災害管理棟1階 会議室1 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121 内線208

■ 母親教室(※要予約)

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)

【開催場所】 病院3階デイルーム 【お問合せ先】 産婦人科外来 06-6871-0121

セカンド・オピニオンについて

他院で治療を受けている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンド・オピニオン外来を行っております。

【お問合せ】

1階総合受付カウンター(医事課)

患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院(臨床研修病院)です。
指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら患者さんの診療に当たっております。
臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のこもった医療」

基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。

患者さんの権利と責務

(患者さん-医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。



地域医療支援病院 大阪府がん診療拠点病院

社会福祉法人

恩賜財団 大阪府済生会千里病院

(編集・発行) 広報ホームページ委員会・経営戦略課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)

ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。
E-mail: hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

